

自動車リサイクル部品活用
に関するアンケート 調査結果
自動車整備・修理業者 回答編

自動車整備・修理業者 290 名

北海道	14名	青森県	3名	岩手県	6名	宮城県	3名
秋田県	4名	山形県	9名	福島県	4名	茨城県	9名
栃木県	11名	群馬県	9名	埼玉県	13名	千葉県	16名
東京都	10名	神奈川県	16名	新潟県	5名	富山県	2名
石川県	1名	福井県	1名	山梨県	6名	長野県	16名
岐阜県	3名	静岡県	1名	愛知県	8名	三重県	6名
滋賀県	6名	京都府	8名	大阪府	14名	兵庫県	11名
奈良県	2名	和歌山県	5名	鳥取県	0名	島根県	1名
岡山県	4名	広島県	8名	山口県	5名	徳島県	5名
香川県	4名	愛媛県	8名	高知県	1名	福岡県	19名
佐賀県	1名	長崎県	2名	熊本県	1名	大分県	5名
宮崎県	2名	鹿児島県	2名	沖縄県	0名		

社団法人 日本損害保険協会
生活サービス部安全安心推進グループ

2011年10月

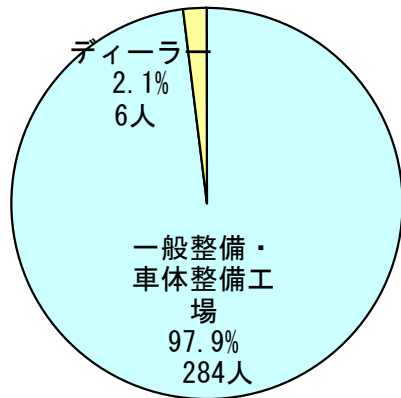
工場向けアンケート
【全員】

1. 回答者の工場形態

	人数	割合
一般整備・車体整備工場	284	97.9%
ディーラー	6	2.1%
合計	290	100%

・回答者のほとんどが一般整備・車体整備工場からの回答であった。

回答者の工場形態

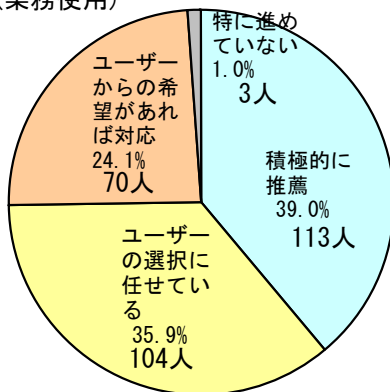


【全員】

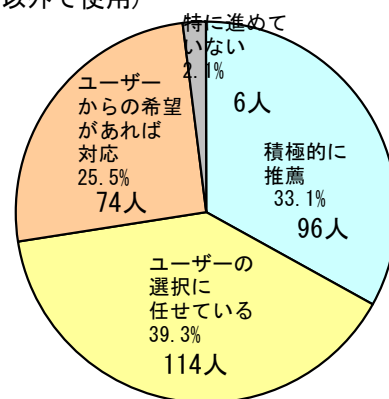
2. リサイクル部品利用の働きかけ（業務使用および業務以外で使用）

	業務使用		業務以外で使用	
	人数	割合	人数	割合
積極的に推薦	113	39.0%	96	33.1%
ユーザーの選択に任せている	104	35.9%	114	39.3%
ユーザーからの希望があれば対応	70	24.1%	74	25.5%
特に進めていない	3	1.0%	6	2.1%
合計	290	100.0%	290	100.0%

(業務使用)



(業務以外で使用)



・業務使用の顧客に対しては、「積極的に進めている」との回答が一番多く、次に「ユーザーの選択に任せている」が続く。業務以外での使用の顧客に対しては、「ユーザーの選択に任せている」が一番多い。業務使用者に対するほうがより積極的に利用を働きかけている。

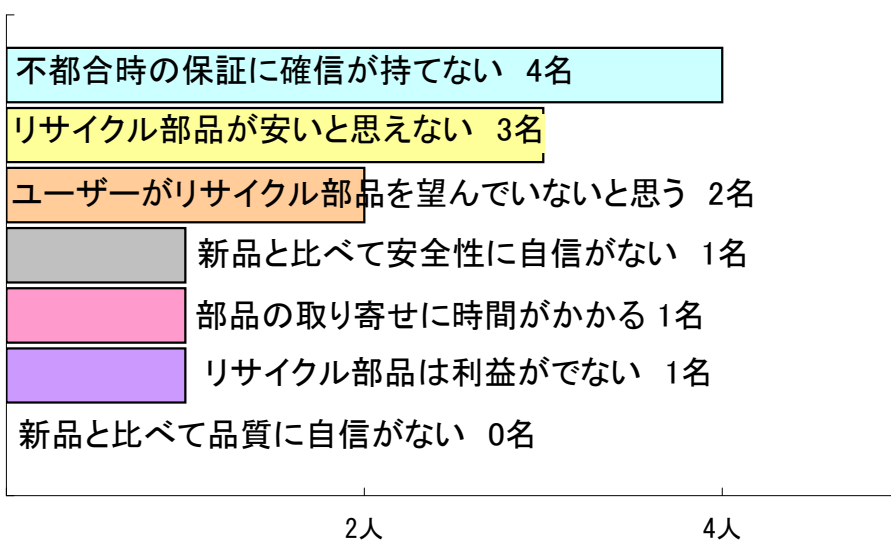
【リサイクル部品を勧めていない方】

3. リサイクル部品を利用者に勧めていない理由（複数回答）

	人数	割合
不具合時の保証に確信が持てない	4	66.7%
リサイクル部品が安いと思えない	3	50.0%
ユーザーがリサイクル部品を望んでいないと思う	2	33.3%
新品と比べて安全性に自信がない	1	16.7%
部品の取り寄せに時間がかかる	1	16.7%
リサイクル部品では利益が出ない	1	16.7%
新品と比べて品質に自信がない	0	0.0%
全回答者数	6	

・勧めていない理由で一番多いのが、不具合時の保証に確信がもてないからとなっている。

リサイクル部品を勧めていない理由

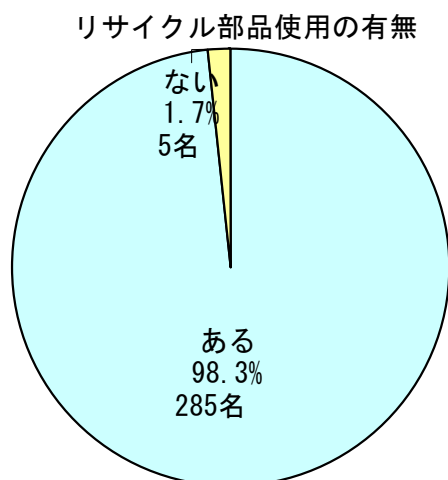


【全員】

4. リサイクル部品の使用の有無

	人数	割合
ある	285	98.3%
ない	5	1.7%
合計	290	100.0%

・回答者の98%以上の方が「リサイクル部品を扱ったことがある」と回答している。

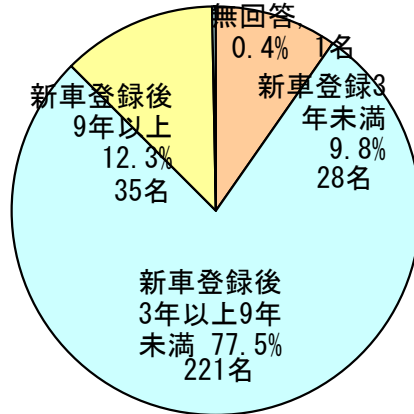


【リサイクル部品を使ったことのある方】
5. リサイクル部品を使用した車齢

	人数	割合
新車登録3年未満	28	9.8%
新車登録後3年以上9年未満	221	77.5%
新車登録後9年以上	35	12.3%
無回答	1	0.4%
合計	285	100.0%

・リサイクル部品を使用する車齢としては、新車登録後3年以上9年未満が多い。一方、新車登録後3年未満でも約1割の工場でリサイクル部品を使っている。

リサイクル部品を使用した車齢

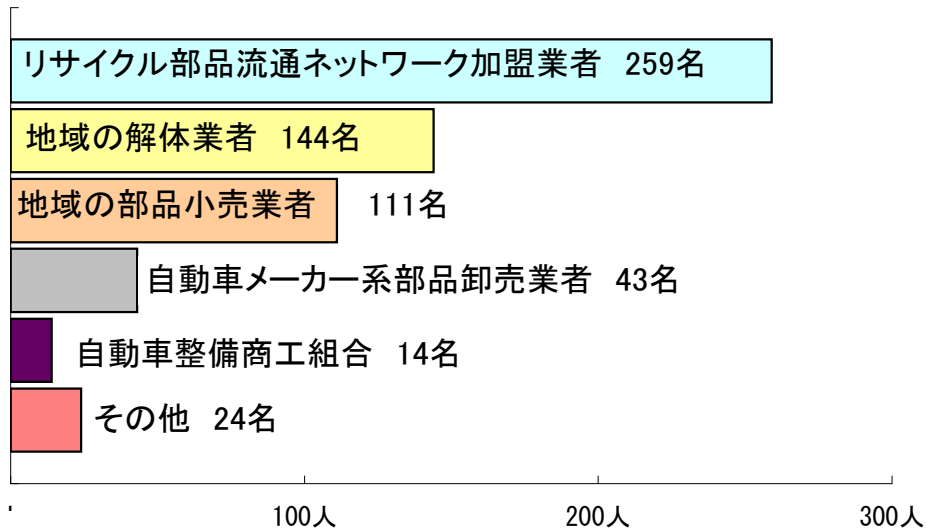


【リサイクル部品を使ったことのある方】
6. リサイクル部品の主な仕入れ先（複数回答）

	人数	割合
リサイクル部品流通ネットワーク加盟業者	259	90.9%
地域の解体業者	144	50.5%
地域の部品小売業者	111	38.9%
自動車メーカー系部品卸売業者	43	15.1%
自動車整備商工組合	14	4.9%
その他(インターネットオークションなど)	24	8.4%
全回答者数	285	

・部品流通関係や加盟している団体のネットワークからの仕入れが多い。

リサイクル部品の主な仕入れ先

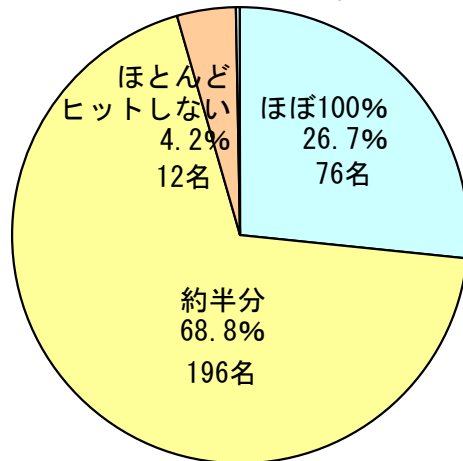


【リサイクル部品を使ったことのある方】
7. リサイクル部品のヒット率

	人数	割合
ほぼ100%	76	26.7%
約半分	196	68.8%
ほとんどヒットしない	12	4.2%
無回答	1	0.4%
合計	285	100.0%

希望の商品をネットなどで探す際、希望の商品を「ほぼ100%」で見つけられるのは、回答者の約3分の1、「約半分」程度見つけられるのが、約7割という状況になっている。

リサイクル部品のヒット率
無回答 0.4% 1名



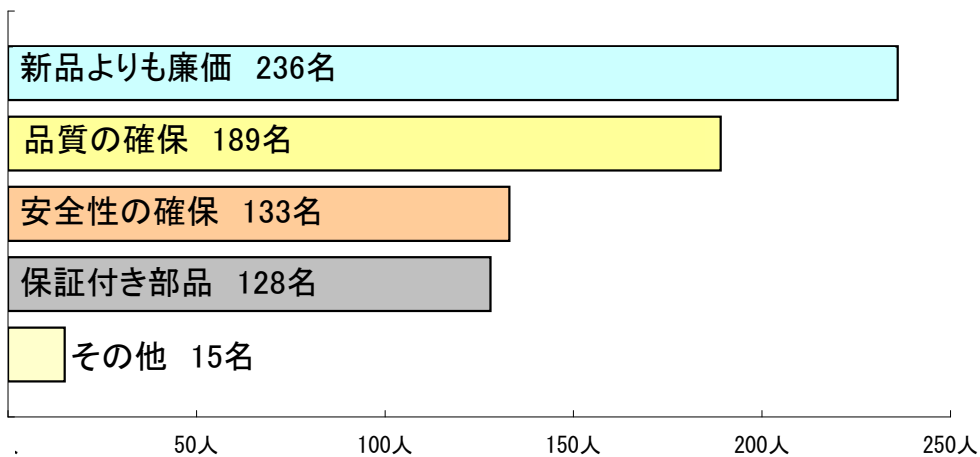
【全員】
8. リサイクル部品普及のためのアピール点（複数回答）

	人数	割合
新品よりも廉価	236	81.4%
品質の確保	189	65.2%
安全性の確保	133	45.9%
保証付部品	128	44.1%
その他	15	5.2%
全回答者数	290	

・リサイクル部品を普及させるためのアピール点で一番多いのが、「新品よりも廉価」なことであり、ついで、「品質の確保」が挙げられた。

その他の主な意見
○環境保護につながることをアピールしている。
○仕上がり品質が新品と変わらないことを伝え、安心していただいている。 など

リサイクル部品普及のためのアピール点



リサイクル部品活用に関する 整備工場・サービス工場からの声

- 新品部品での利用よりも経済的な事と CO2 排出量の削減に役立つという説明をすると 99%のお客様がリサイクル部品やリビルト部品での修理を希望されますので当社では積極的に推進している。リサイクル部品で修理しても安心な事を積極的にアピールする必要がある。
- 修理業者の説明ではユーザーはあまり理解を示さないため、国・地域自治体・保険会社・自動車メーカーからの積極的な説明やアピールが必要ではないか。
- 当社ではリサイクルパーツのメリット・デメリットを説明し、整備や自社の代車メンテナンスにもリサイクルパーツを使用している。お客様には金額面で喜ばれている。お客様自身が中古パーツを持参する場合も対応している。
- 実費での修理ユーザーには金額面でリサイクルを使用した場合のメリットは感じて頂いていると思うので、これからも積極的に進めていくが、保険使用のユーザーからは「なぜ？保険なのに」と言われる方がほとんどなので勧めにくいのが現状である。
- 自動車業者がリサイクルパーツを理解し、一般利用者へご案内していかなければならないと感じている。また、リサイクルパーツの値段が高騰しているので、利用しやすい金額設定にしてもらえると使いやすくなり、より理解されていくと思う。
- 現在の経済状況や環境状況を考えれば、リサイクル部品の使用は必須である。自動車業界だけの事ではなく国民全体での取り組みが求められる。エンドユーザーへの奨励金制度など国として補助して頂けるような事も提案して頂きたい。自社的にはリサイクル部品の使用頻度は高いと思っているが、仕入価格が新品の仕入価格とあまり変わらなくなり、エンドユーザーへ勧めにくくなっている。流通制度の変革も必要になってきているのではないか。
- ユーザーにもだいぶ浸透してきており、リサイクル部品を活用する機会がここ数年で多くなってきているが、その分価格が高騰し新品部品との価格差が無くなってきて、価格的なメリットがなくなってきていると思う。エコ（循環型社会）だけでは、ユーザーへの利用には、つながらないと思う。（価格差が小さいと新品部品の使用を要求される）
- リサイクルパーツの存在又は、安全性、環境に配慮されてる事をテレビ CM や新聞の広告欄などで世間にアピールしていけば、カーオーナー自身のリサイクルパーツに対しての意識や認知度も変わるのではないか。
- 素性のわかる部品（走行距離、年式、程度、付属パーツ）であればお客様に納得頂ける。

以上